

2025年8月25日

生活・文化委員会委員各位

中部経済同友会 生活・文化委員会
委員長 藤原 一朗
副委員長 梅村 清英
副委員長 大野 浩司
副委員長 桑野 剛
副委員長 高橋 知子
副委員長 高橋 広

生活・文化委員会主催 五島列島・長崎視察会のご案内

日頃は当委員会活動にご支援賜り、誠にありがとうございます。

当委員会では、アジアの諸都市を訪問し、その国の生活・文化、消費・流通分野における発展状況を視察しておりますが、今年度も円安の進展によるコストアップや地政学リスク等を鑑み、国内視察といたします。今回は、本年度の中部経済同友会の活動テーマである『日本経済の再浮上に向けて』、夢を持てる社会の実現を体感すべく、五島列島と長崎市を訪問します。それぞれの地域で行われている取り組みを学びながら、明るい未来への道筋を描くための新たな視点を考察する行程といたしましたのでご案内申し上げます。

五島市は、美しい自然と豊かな海産物、さらに世界遺産に登録された潜伏キリシタン文化が息づく魅力的な地域です。一方で、人口減少や高齢化といった課題に直面していますが、移住促進によって若者の定住を進め、地域の活性化に取り組んでいます。また、長崎市は異国情緒あふれる港町で、歴史的建造物や日本三大夜景にも数えられる美しい眺めを誇る観光都市です。同じく人口減少や高齢化の課題に向き合いながら、移住促進や地域活性化により新たな文化や産業の創出が期待されています。この視察を通じて、五島列島と長崎市の魅力や抱える課題を体感していただき、持続可能で夢を持てる社会の実現について考える貴重な機会となれば幸いです。

本状は定員の都合上、生活・文化委員会登録委員の皆様にご案内しております。ぜひご参加賜りますようお願い申し上げます。

記

- 日時 2026年3月4日（水）～6日（金）（2泊3日）
- 主な視察先（予定／詳細別紙）
 - 1日目 堂崎天主堂、(株)五島列島酒造、五島市役所
五島リトリート ray by 温故知新（講話・宿泊）
 - 2日目 鬼岳、長崎スタジアムシティ
 - 3日目 グラバー園、大浦天主堂、出島、軍艦島クルーズ
- 会費 概算 27万円（交通費、宿泊費、食事など）
※費用は参加人数により変動しますので、改めてご案内申し上げます。
- 定員 15名（登録委員対象／申し込みが定員を上回る場合は先着順）
※貸切バスで移動、おひとり2シートご用意いたします。
- 申込方法 ご参加希望の方は、**9月30日（火）までに**会員専用ページより
ご登録をお願いいたします。
- その他 (1) 会費は概算です。また、上記金額に飲物代・現地訪問先への手土産代等は含まれておりません。別途精算させていただきます。
(2) お申込み受付後、**2026年2月11日（水）17時以降**は所定のキャンセル料が発生いたします。

中部経済同友会
会員専用ページ



7. 本件問合せ先 中部経済同友会事務局 担当：菱川、山田 TEL：052-221-8901

日程	内容
3月4日（水） （1日目）	6:30 ご集合 中部国際空港 6:50 出発式 7:30-9:00 ANA371 便にて長崎空港へ 9:00-9:55 長崎空港到着、乗り継ぎ 9:55-10:25 ANA4673 便にて五島福江空港へ 10:25-11:10 五島福江空港到着後、バスにて移動 11:10-11:45 【視察①】 堂崎天主堂 12:00-13:00 昼食「寿し善」 13:30-14:30 【視察②】 (株)五島列島酒造 15:00-16:15 【視察③】 五島市役所 16:30-17:00 宿泊ホテル「五島リゾート ray by 温故知新」着・チェックイン 17:00-18:30 宿泊ホテル内【講話】 18:30～ 夕食懇親会
3月5日（木） （2日目）	10:00 「五島リゾート ray by 温故知新」出発 10:15-10:45 【視察④】 鬼岳 11:00-11:40 昼食「鬼岳 四季の里」 -12:40 五島福江空港到着 12:40-13:10 ANA4676 便にて長崎空港へ 13:10-13:30 長崎空港到着、バスご乗車 13:30-14:30 バス移動 14:30-16:30 【視察⑤】 長崎スタジアムシティ 16:30-16:45 宿泊ホテル「ヒルトン長崎」着・チェックイン 17:30-17:50 ロビー集合・ご移動 18:00-20:00 夕食懇親会「料亭 橋本」
3月6日（金） （3日目）	9:00 「ヒルトン長崎」出発 9:30-10:30 【視察⑥】 グラバー園、大浦天主堂 10:30-11:30 【視察⑦】 出島 11:30-12:30 昼食「長崎内外倶楽部レストラン」 13:00-16:10 【視察⑧】 軍艦島クルーズ 17:00-18:10 夕食懇親会「四海楼」 18:10-19:10 長崎空港へ移動 20:10-21:10 ANA374 便にて中部国際空港へ 21:10 中部国際空港到着後、解散

※今後、行程に変更が生じる可能性もございます。あらかじめご了承くださいませよう願いたします。

<生活・文化委員会 五島列島・長崎視察会 主な視察先のご紹介>

■2026年3月4日（水）1日目

堂崎天主堂

五島市奥浦地区の海岸沿いにある教会。五島列島で最初に建てられた福江島を代表する天主堂で、日本二十六聖人の1人で五島出身のヨハネ五島に捧げられた記念聖堂でもある。県指定有形文化財で、堂崎天主堂キリシタン資料館となっている堂内には、潜伏キリシタンの資料が展示され、その受難の歴史が紹介されている。

株式会社五島列島酒造

福江島初の焼酎の蔵元。農産物の出荷量を増やすことで島の農業を活性化させたいという思いから2008年に設立された。焼酎の原料には、五島産の芋・麦・米と、九州名水100泉にも選ばれた島内の湧水を使用し、五島の自然の恵みを活かした焼酎造りを行っている。

五島市役所

五島市は、大小152の島々からなる五島列島の南西部にあり、総人口約31,000人、総面積420.12km²で10の有人島と53の無人島で構成されている。近年では、テレビドラマ（NHK連続テレビ小説『舞い上がれ！』など）や映画のロケ地（『孤独のグルメ』など）として露出が増えたことが追い風となり、コロナ禍で落ち込んだ観光客数も回復傾向にある。五島市地域振興部と産業振興部のご担当者様より地域振興や観光施策等についてお話を伺う。



堂崎天主堂



株式会社五島列島酒造 外観



五島市役所

五島リトリート ray by 温故知新（宿泊）

2022年8月30日、長崎県五島市福江島に開業したラグジュアリーリゾートホテル。

コンセプトは「祈りの島、光の宿」。五島列島・福江島のシンボル「鬼岳」と、鬼岳の噴火により形成された溶岩海岸「燈瀬溶岩海岸（あぶんぜようがんかいがん）」の間に位置する。デザイナー橋本夕紀夫氏（愛知県出身）が「The view」をテーマに内装設計・デザインを手がけた。

全室オーシャンビューの客室、五島の自然の風景を取り込んだ洗練された空間の中で、非日常を味わうことができる。2024年7月には、ミシュランガイド「ミシュランキー」において「1 ミシュランキー」に掲載された。



■2026年3月5日（木）2日目

鬼岳（おにだけ）

標高315mの鬼岳は、勇壮な名称とは反対に、丸みを帯びたやわらかな形状で古くから市民に親しまれている。鮮やかで美しい芝生で覆われた小高い火山で、その穏やかな姿からは、かつて噴火した火山とは想像しにくい。展望台を備え、五島を一望することができる。

長崎スタジアムシティ

長崎スタジアムシティは、長崎市にある複合施設で、サッカー専用スタジアムを中心にアリーナ、ホテル、商業施設、オフィスなどで構成されている。(株)ジャパネットホールディングスが、三菱重工業長崎造船所幸町工場の跡地を活用して建設し、2024年10月14日に開業した。



鬼岳からの眺望



長崎スタジアムシティ外観
(提供：長崎スタジアムシティ)

■2026年3月6日（金）3日目

グラバー園

長崎港の大パノラマを見下ろす南山手の丘に位置する明治日本の産業革命を支えた外国人居留地の象徴。国指定重要文化財の旧グラバー住宅・旧リンガー住宅・旧オルト住宅の3棟は150年以上現存する貴重な建造物である。他6棟は明治中頃に長崎市内に建てられた洋風建築を移築・復元している。

大浦天主堂（日本二十六聖殉教堂）

幕末の開国にともなって造成された長崎居留地に、在留外国人のために建設された中世ヨーロッパ建築を代表するゴシック調の教会。国宝で、現存する日本最古の教会建築である。

建立直前の1862年に聖人に列せられた日本二十六聖人に捧げられた教会であり、天主堂の正面は殉教の地である長崎市・西坂に向けて建てられている。

出島

江戸時代に鎖国政策の一環として1636年に長崎に築かれた人工島。日本で唯一西洋に開かれた窓口として、218年にわたり貿易や文化交流の拠点となった。国指定史跡として整備されている。

軍艦島（端島）

軍艦島は、長崎港から船で約18.5kmの距離に浮かぶ、かつて海底炭鉱で栄えた無人島。近代日本の産業遺産として2015年に世界遺産に登録されている。当日はクルーザー型ツアー船JUPITERに乗船し、軍艦島上陸ツアーを実施予定。（※軍艦島上陸は、安全基準を満たした天候条件の場合のみ可能）



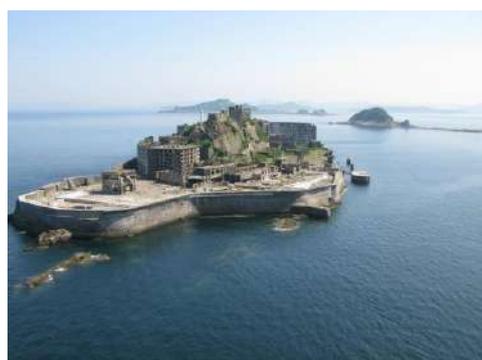
旧グラバー住宅



大浦天主堂



出島ワープからの景色



軍艦島（端島）